

なと市議会だより

第131号
2010.5.1



モンシロチョウ



ウグイス



オイカワ



アマガエル

水辺で遊ぶ子どもたち

市内には、豊かな自然と景観に恵まれたエリアが数多く見られます。
水辺の生き物たちも活発に動き出す季節を迎えようとしています。

2月議会の日程

2月 23日	開会、条例等審議、委員会付託
26日	各常任委員会
3月1～4日	一般質問
5～8日	常任委員会条例等審査
9日	条例・補正予算等審議
10日	総括質疑、予算特別委員会設置・付託
10～17日	予算特別委員会
18日	新年度予算・意見書審議等、閉会

目次

- 2～9 …… 一般質問
- 9～10 …… 条例・補正予算等審議
- 10～12 …… 新年度予算・追加議案
- 13 …… 議案審議結果
- 14 …… 議会諸報告・編集後記他



今野栄希 議員

伊達政宗が構築した 貞山運河について

議員 二百八十四年間の歳月を費やした貞山運河は日本一長い水の道である。ベニスのような観光、レジャーの場として実現できるよう働きかけるべきである。
市長 浚渫、モニユメントや歴史を学ぶスペースの確保を県に要望している。
議員 観光エリアのテーマ

パークとして広浦周辺に「博物館」を建設すべき。
市長 「貞山運河の魅力再発見協議会」でマスタープラン策定に向け議論されている。
策定の後、国・県に具体的整備を要望していく。
議員 「新堀」と「中貞山運河」の「架橋」による連結、または「渡し舟」を運行すれば、貴重な自然が残る井土浦等と一連のつながりが構築でき、仙台・名取のきずなも一層深まるので県に強力に働きかけるべきである。
市長 極めて夢のある御提

言である。「架橋」については可能な事業であるか調査したい。「渡し舟」については、調査を行い、実現の可能性を探ってまいりたい。
議員 伊達政宗は戦国時代に外国に目を向けるなど、ひととき優れた策士、戦略家であった。民を豊かにしたいという志があったからこそ運河が完成したと思う。政宗の志を現代に生かす取り組みを伺う。
市長 貴重な歴史的、文化的遺産である貞山運河を後世に継承するべく事業を展開してまいりたい。



▲ 貞山運河の風景

〈その他の一般質問〉
▽国・県事業の市負担▽特殊勤務手当▽ＩＴ（情報通信技術）電子化▽医療費（薬剤費）の抑制▽河川敷地公園等の整備▽サポーター制度▽新図書館▽農業対策



菊地 忍 議員

最終処分場の 用地選定について

議員 最終処分場の用地選定は、コンサルタントによる比較調査の結果、高館熊野堂棟沢（さいかつさわ）が適切と示され、市が選定したものである。その後、昨年一月九日の議員協議会で選定経過の説明、五月二十五日には相互台公民館で住民説明会が行われた。しかし、

この説明会では資料が準備されていなかったこともあって流会となり、十二月二十七日に実質第一回の住民説明会が開催された。
この住民説明会では、市を含めた行政に対する不信、コンサルタントの評価について納得できない、環境に与える影響への懸念についてなど、さまざまな意見が出された。
市長はこれをどのように受けとめているのか、選定を見直すことがあるのか、今後の対応を伺う。
市長 用地は専門的な調査

結果に基づき市が選定したものであり、これを変える考えはない。最終処分場の処理方式などが決定した上で、具体的に説明したい。
今後の対応は行政への不信の払拭、市に意図的な考えのないことを理解していただくよう努める。
議員 地元の同意がなければ建設できないが、何をもって同意とするのか。
課長 説明会でおおむねの了解を得たいと考えている。
議員 今後、説明会に市長が出席する考えはあるか。
市長 必要に応じ考えたい。



▲ 岩沼市にあるオープン型最終処分場

〈その他の一般質問〉
▽幼児教育
▽読書活動の推進



丹野政喜 議員

拓桃医療療育センター を誘致すべき

議員 県立拓桃医療療育センターを移転新築する方針が発表された。医療体制の充実を求める市民の声にこたえ、積極的に誘致すべき。
市長 歓迎すべき施設ではあるが、県では有識者会議を設置し、基本構想を策定するとしている。現時点で誘致に動く考えはないが、

本市の優位な立地性や恵まれた自然環境などの情報提供に努めながら、県の検討経過を見守りたい。
議員 医療圏内の基準病床数がオーバーしている現状では、中核病院の新設は望めないが、移転新築であれば可能ではないのか。また、県では知的障がい児の増加に伴い特別支援学校の整備計画を加速させる。
一方、市は愛島台に譲渡を受けた市有地の活用策を示せないでいる。拓桃医療療育センターを核とし、特別支援学校の誘致や、障が

い者の作業所、グループホームまで、自立に向けた一貫した環境をつくり上げることはできないか。今後の拓桃医療療育センターの基本構想や特別支援学校環境整備計画に市として一石を投じていく姿勢を持つべき。
市長 愛島台の土地の活用については、地域住民とのコンセンサス形成、都市計画上の用途問題など、市の判断だけでは進められない課題もある。
これまでの計画に縛られることなく、あらゆる可能性を模索していきたい。



▶ 宮城県拓桃医療療育センター

▽ その他の一般質問
〈防犯活動の推進〉

一般質問

市政のことが聞きたい

「一般質問」は市の執行部に対し、政策提言や事務の執行状況についてたずねるものです。

本定例会における一般質問は、14人の議員から46事項、120項目の質問があり、3月1日から4日までの4日間、行われました。

各議員の一般質問の内、1項目を掲載いたしました。なお、掲載項目以外につきましては、その他の一般質問として、項目のみ掲載しております。

丹野政喜 議員 P 2

・ 拓桃医療療育センターを誘致すべき

菊地 忍 議員 P 3

・ 最終処分場の用地選定について

今野栄希 議員 P 3

・ 伊達政宗が構築した貞山運河について

小野寺美穂 議員 P 4

・ 公契約条例の制定を目指すべき

郷内良治 議員 P 4

・ 市民挙げての応援体制を

星居敬子 議員 P 5

・ 国民読書年の取り組みについて

森 良二 議員 P 5

・ 処分場建設で巨名処理組合と連携すべき

山田龍太郎 議員 P 6

・ 新しいまちづくりの今後の課題について

大沼宗彦 議員 P 6

・ 国民健康保険税の引き下げを

佐藤賢祐 議員 P 7

・ 公立幼稚園の改革や民営化について

高橋史光 議員 P 7

・ 文化創作芸術の振興策について

山口 實 議員 P 8

・ 投票所の運営について改善を

沼田喜一郎 議員 P 8

・ 路線バス井戸浜線(閑上線)運行について

太田稔郎 議員 P 9

・ 農地法の改正による影響について



郷内良治 議員

市民挙げての応援体制を

議員 これまでスポーツや文化等で宮城県を代表して東北大会や全国大会、さらには国際大会等で活躍されてきた市民がいる。また二月に開催されたバンクーバー五輪ではフリースタイルスキー男子モーグルに出場の遠藤選手が日本男子初の七位入賞を果たし、私たち

市民はもちろん日本国民に夢と感動を与えた。このように各種大会に出場する方々は大変な努力と練習を積み重ね、出場を果たしていることから、市民挙げて応援すべきと考える。文化部門では市内小中学校の児童・生徒が合唱コンクールやマーチングバンドで東北大会や全国大会に出場しているが、市民への周知が徹底されていないため市民はわからない。応援幕やポスター等で周知を図り市民挙げて応援できる体制

をつくるべきと考えるがどうか。
市長 各種大会に出場する方々に対し市民が応援できる体制があれば素晴らしいことではあると考えているが、応援体制については学校も含め所属するチームや団体等の自主的な取り組みであることが望ましいのではないかと考えている。
教育長 所属するチームや団体などの自主的な取り組みの形が望ましいものと考えている。



小野寺美穂 議員

公契約条例の

制定を目指すべき

議員 公共工事や委託事業にかかわる労働者は全国で一千万人を超える。国と自治体が率先して、これらの労働者に「働くルール」を確立すれば、日本の労働者全体の労働条件の改善に大きな波及効果を与える。公共事業を住民生活密着型に転換し、地域の中小業者に優

先して仕事が回る仕組みをつくれれば、地域経済の再生、自治体の税収増につながる。長引く不況を背景に、委託企業・下請け業者や現場労働者への工事代金や労働条件の切り下げ等が横行する無法状態とも言える劣悪な状況が続く中で、公務共サービス・公共工事現場に適正なルールを確立させるために、公契約条例の制定を目指すべき。
市長 先進的な自治体においても、いまだ確定した法的根拠や見解がなく、対応が分かれている。

公契約条例は、地域経済やワーキングプア解消に必要な取り組みの一つであると思うが、国の法制化で対応すべきと考える。
議員 異常なほど低額入札が続く自治体もある。行政が業者を疲弊させないルールが必要ではないか。
市長 低入札価格調査制度や最低制限価格制度などで、ダンピング対策を実施している。著しく不合理な低入札での落札とはなっていないが、引き続き入札制度を精査し、状況を監視していきたいと考えている。



〈その他の一般質問〉
▽宮城県地方税滞納整理機構と徴税のあり方



▲市役所正面入口に掲示した祝賀横断幕

〈その他の一般質問〉
▽地域の特長を生かした活性化▽愛島の市有地利用



森 良二 議員

処分場建設で 巨名処理組合と連携すべき

議員 巨名共立衛生処理組合が本市に建設する新最終処分場施設について、全体構想がなければ説明会での地元の理解は得られないと思う。市として望ましい施設の姿を検討すべき。
市長 しっかりとしたごみ処理方針をつくり、処理方法・処分場のあり方を決め

た上で候補地の選定をすべしと、本市としては当初から申し上げていたが、最終的な処理方法・処分場方式も決まらず現在に至っている。住民へは搬入物や施設がどのようなものか具体的な説明ができない状況である。そのようなことを明らかにし、安全性のある施設のあり方を住民に納得できるように説明をしたい。
議員 昨年十二月の巨名処理組合議会で、機種を選定や検討をこれから始めると管理者が答弁されていた。このことを踏まえ、ごみの

搬入種類なり処分方法についてまだ決定していない今の時期に、本市として、最もふさわしい施設の検討を行い、組合へ申し入れて連携して建設を図るべき。
市長 最終処分場建設についての処理方式は、オープン型やクローズド型がある。巨名処理組合で焼却施設の機種や最終処分場の処理方式等選定すべく作業を進めている。本市としては受け入れやすく、将来跡地利用もできるような、よりよい最終処分場の処理方式を選定するよう働きかけたい。



▲秋田県大仙市のクローズド型最終処分場

〈その他の一般質問〉
▽市民のマナー育成▽市民歌▽自転車通学女子中学生の制服▽岩沼市と名取市の連携



星居敬子 議員

国民読書年の 取り組みについて

議員 読書や活字離れが進む今、国を挙げて読書活動を盛り上げるため、本年は「国民読書年」と決議された。そこで市として特別な行事や企画に取り組みむべきと考えるがどうか。
市長 国会決議を踏まえ、図書館を核として読書への意識を高める記念行事を行

う。具体的には、大規模な本の展示会、お話し会、本をテーマとした講演会等のイベントを企画している。
これまでの各種事業も「国民読書年」を契機に拡充し、より読書に親しむ環境整備を行い、読書ニーズにこたえるため充実を図る。
議員 市が策定した「子ども読書活動推進計画」の中に、ボランティアの連携や支援育成・ネットワークづくりの重要性が位置づけられているが、現状を踏まえたい取り組みを伺う。
市長 現在、図書館で活動

している「読み聞かせボランティア」は一団体のみで、育成・支援は喫緊の課題と認識している。二十一年度読み聞かせボランティア養成講座を開催したところ、多数の参加があり意識の高さを認識した。この方々からは、技能を生かす場がほしいとの声があり、実務研修を行い、四月から保育所で読み聞かせを実施する予定である。
今後は市内のほかのボランティアの方々を含め、市内全域のネットワークを構築するよう検討している。

〈その他の一般質問〉
▽女性特有がんの対策
▽学校給食



じゃあ、読もう。



大沼宗彦 議員

国民健康保険税の 引き下げを

議員 納めたくても納められない人を救済する手だてを尽くすべき。

市長 一定の基準以下の低所得者世帯には、七割・五割・二割の軽減制度を適用している。また、離職者には昨年七月から減免措置を講じている。

議員 国保は、医療費の三

割負担に加えて、傷病手当や休業補償がない医療制度である。また、社会保険や公務員共済に比べて、低所得者層には重い負担と言われている。生存権の保障と応能負担の原則を前提としただれもが納められる額に引き下げろべき。

市長 国民皆保険制度を堅持するため、安定的運営が不可欠。制度を維持していくため、国保財政の健全化と適正な課税に努める。

議員 後期高齢者医療制度は、国保会計とも不可分なもので、今後の高齢者医療

費の伸びで、後期高齢者支援金もふえる。国保会計の赤字体質に拍車をかける後期高齢者医療制度の廃止を求めろべき。

市長 現内閣で廃止に向けた検討がされている。その状況を注視しながら広域連合と連携して対応したい。

議員 国保は八十五年以降、医療費の四十五割の国庫負担金が三十八・五割に削減された。国庫補助の大幅増額を強く要望すべき。

市長 安定的かつ健全な運営のため、国保関係予算措置を今後も要望していく。



山田龍太郎 議員

新しいまちづくりの 今後の課題について

議員 地方の都市化、郊外化によって起こりうる犯罪に対して、行政としての対応はなされているのか。

また、今後さらに人口増加が見込まれる中で、しっかりと対策をとっていくべきと考えるがどうか。

市長 本市の防犯については、市内八地区の防犯協会

のほか、各小学校区の自主防犯組織による防犯パトロールなど、各種防犯活動を行っている。

さらに名取市防犯協議会において各防犯協会、関係団体や岩沼警察署との連携を密に、地域に根差した防犯活動の推進に努めていく。

議員 学校教育の立場から現状をどうとらえているのか。対策、対応、そして児童・生徒を守るための指導をさらに高めることが必要と考えるがどうか。

教育長 犯罪発生に関する学校としての指標の一つ

に、不審者との遭遇、声かけ、不審電話等の事案が挙げられる。今年度になり不審者事案がふえてきていることに、改めて危機意識をもっている。

本市では、千七百余名の学校安全ボランティアの協力による巡視活動、児童生徒への防犯ブザーの配布、関係機関等への迅速な連絡体制、携帯電話やパソコンへ一斉送信による保護者への情報提供等、さらに、警察指導のもとで防犯訓練、緊急対応としての集団下校訓練を行っている。

〈その他の一般質問〉
▽仕事起こしと地域経済の活性化



▲ 保険年金課の窓口

〈その他の一般質問〉
▽地球温暖化対策



▲ 美田のあと、再開された新しいまち



高橋史光 議員

文化創作芸術の 振興策について

議員 「閑上太鼓」や「すずめ踊り」など、文化財指定条件に満たない文化伝統創作芸術の保存・普及活用を努め、次世代に継続するためにも市独自の指定登録制度（仮称）名取市芸術創造文化財をつくるべき。
教育長 登録文化財は、数多く所在する歴史的資料や

伝統文化の中で、一定の価値と評価が立証されたものが対象となり、保護措置が図られる。
閑上太鼓やすずめ踊りなどは、歌や踊り・楽器などに伝統的な芸能の要素や手法を取り入れているものの、全体的に現代風アレンジした創作芸術的な性格が強く、地域に伝承された芸能ではなく地域的特色も認められない。
文化財としての位置づけが困難な創作的な伝統芸能や芸術などに対する市独自の指定登録制度の制定は大

変難しいものと考えている。
議員 閑上太鼓は、学校の選択授業創作太鼓等の指導や市行事への参加など、年間を通して社会的支援活動をしている。すずめ踊りも同様である。文化創作芸術の伝統継承の観点からも独自の登録制度をつくるべき。
教育長 歴史がまた浅く、創作的な伝統芸能に対する独自の登録制度は難しい。
議員 次世代の子どもたちへの継承と創作文化意識の高まりに必要ではないか。
教育長 検討させていただきたい。



▲名取夏まつり大会での閑上太鼓の船上演奏



佐藤賢祐 議員

公立幼稚園の改革や 民営化について

議員 現在の市立幼稚園は定員の増加も図れず、園児送迎バスも運行せず、市民ニーズに沿っていない。今後も公立幼稚園を存続する考えであれば、四幼稚園を一つに統合し、施設の整備充実を図るとともに園児送迎バスを運行することが基本と考える。

また、私が提言し続けている幼稚園と保育所の一元化を進めるとともに、公設民営化を図ることこそ公私間の格差是正に繋がると信ずる。民営化は市長の選挙公約でもあったはずであり、実現しないのはなぜか。
市立幼稚園は五千数百円と低額な保育料であり、私立の高額な保育料とは比較にならない不平等である。それに市立は送迎バスがないため、送迎できる恵まれた家庭環境の方しか通園させられない。共働き家庭は最初から対象外となってしま

う。このままこの問題を放置している教育委員会の責任は重大と考えるがどうか。
市長 副市長を中心とする「幼児教育のあり方検討委員会」で検討しており、市長部局と教育委員会にまたがる問題なので、もう少し時間をいただきたい。
教育長 園児の定員制限数については、市立と私立の共生も考えた結果だと認識している。
市立四園を統合し一つにする問題も含め、子育て支援全般に係る問題ととらえ、慎重に検討していく。



▲市立の下増田幼稚園

〈その他の一般質問〉
▽流れを変えようというキャッチフレーズである市長の基本姿勢▽消防の広域化への取り組み姿勢▽市の公的施設の駐車場管理▽福祉活動への取り組み姿勢

〈その他の一般質問〉
▽地球温暖化対策
▽学校教育



沼田喜一郎 議員

路線バス井戸浜線 (閑上線)運行について

議員 仙台市営バス井戸浜線は、かつてはドル箱路線といわれ、多くの通勤・通学、また行商の方々が毎日利用する、閑上地域住民の重要な交通手段である。昨年八月、なとりん号による接続運行に変更されたとの説明会が開催されたが、これまでの仙台市交通

局との協議内容や、本市としての基本的な考え方は、**市長** 井戸浜線については閑上地域の方々が長年利用してきた歴史的経過などから、平成四年度来、本市の政策的判断として、また、運行に係る欠損金の一部を当市が負担することを条件に運行を維持してきた。乗り継ぎ方式の地域への提案については、仙台市交通局と事前に協議を行い理解を得た上で説明会を開催した。市としては、少ない予算で井戸浜線の機能を維持する基本的なスタンスは今

も変わっていない。**議員** バス運行の変更説明に対し、出席住民の意見は反対がほとんどであった。平成二十二年度は、これまでどおり運行を継続するとしているが、通勤・通学の安全対策上さらに、まちの活性化のためにも、今後とも仙台市営バスの運行を継続すべき。**市長** 当面は現行どおり運行継続に取り組んでいく。将来的なあり方は、仙台市交通局と連絡を密に、地下鉄東西線等の情報収集に努め、慎重に判断していく。



▲ 井戸浜線(閑上線)で運行されている仙台市営バス

〈その他の一般質問〉
▽海洋基本法



山口 實 議員

投票所の 運営について改善を

議員 投票所使用は、公職選挙法や名取市公職選挙執行規程で決められておらず、運営上の裁量の範囲と判断する。地域住民のコミュニティ施設である集会所等が三日間も使えなくなる現在の方法は問題で改善すべきであると考えるが。**委員長** 地域の皆さんに迷

惑をおかけしているが、準備に万全を期し、選挙の適正執行を図る上から協力願いたい。**議員** 集会所等の利用頻度は多く、地域の実態を重く受けとめるべきである。三日間に及ぶ要因は、金曜日からの会場準備にあると考えられる。職員の工夫や業者に委託するなどして、使用できない期間を短縮し施設の利用促進を図るべき。**委員長** 施設使用に制限を強いていることは充分認識している。万が一にも不備や事故が

あつてはならず、選挙の適正な管理執行の観点から、現在の方法で準備を実施しており御理解いたいただきたい。**議員** 選挙の公正を確保する立会人は、言動が厳しく制限され一定の規程で行動しなければならぬ。離席も容易でなく、長時間同じ姿勢が求められ、職務とはいえ苦痛で重労働となる。立会人の負担軽減を図る上からも、パイプ椅子等に配慮すべきでは。**委員長** 長時間にわたる投票事務であり、意見を聞き改善に努めたい。



▲ 投票所の様子

〈その他の一般質問〉
▽本市農業の確立を目指して

農地法の改正による

影響について



太田 稔郎 議員

議員 株式会社等一般企業にも農業への参入の道が開かれた。農業委員会へ利用状況を報告する義務づけに伴い、監視を強化すべき。
会長 農作業に常時従事しない法人も農業経営ができるようになった。新たに認可の判断に地域との調和要件も加えられた。借り手が

中途撤退した場合、農地の原状回復や損害賠償及び違約金の請求について、農業委員会が行うこととなった。
議員 企業が農地を借りた場合、利用状況の報告の確認や監視について、今の委員会の体制で可能か。
事務局長 企業が参入する場合、高いハードルをクリアしなければならぬ。企業の経営状況も含め、農業委員が常日ごろから見て報告書に合致しているか厳正に対処していく。
議員 集落営農法人の要件が緩和され、介護事業等に

参入することや、市町村が出資者になることもできるようになった。検討すべき。
市長 集落農業等担い手が確保され目標に向かっていく。組織づくりは地域の方々が主体的に管理・運営されている。法人化には市が積極的には関わらず、関係機関とともに支援したい。
会長 権利移動適正の見直しに伴い、市町村も営農法人の株主になることが可能となったが、地域の方々が合意形成がなされ、集落営農法人を設立したいときは側面から支援する。



集落営農による収穫作業

〈その他の一般質問〉
▽高齢者対策▽がん対策

委員会審査

条例

総務財政常任委員会

職員の給与に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

改正の影響は

企業立地促進条例の一部改正

集積業種について

委員 優遇する集積業種として自動車関連産業を規定しなかった理由は。
課長 現在自動車関連産業

その他

経済教育常任委員会

指定管理者の指定について

サイクルスポーツセンター・閑上海浜

プールの指定管理について

委員 指定しようとしている会社の状況が大きく変わると聞いたが、なぜ公募をせず、選定委員会も開かなかったのか。
部長 会社名も事務所も変わっていない。三年間の実績があり一年間だけ指定管理をお願いするものである。

本会議審議

補正予算

一般会計

歳入

市民税について

議員 個人分増の原因は。
課長 給与所得で当初四百七十四億二千三百九十六万四千、一万四千五百七十二人を見ていたが、現状では四百八十七億四千三百五十三万円で百十九人、二・七割の増である。

学校給食費実費 徴収金について

議員 減額の理由は。
課長 新型インフルエンザの流行により、学年閉鎖、臨時休校があった。
給食を停止した分は保護者に負担を求めないことからの小学校分六百五十五万一千円、中学校分四百八十三万四千円の減額補正である。

歳出

職員互助会

助成金について

議員 増額の内容は。
課長 当初予算措置は十九年度の間人ドック・脳ドック実施分の助成金で五十三人分である。今回、助成金のあり方を見直し、二十年度実施した五十二人分の助成

金の予算措置となった。二十一年度の実施分から助成金は廃止する。

子ども手当システム 導入委託料について

議員 委託料の内容は。
課長 システム構築のための導入費である。国より詳細な通知等は来ていないが、新年度早々にシステムを構築しなければならぬことから予算措置をした。

館腰遊歩道について

議員 灯具、路面改修工事の内容は。

課長 灯具は全体で三十七基あり、平成十七年から更新している。当初予算で五基を更新し、今回は二十二年度分の前倒しで四基分の予算措置である。
路面改修は、飯野坂親水公園エリアの路面のでこぼこを補修するものである。

不二が丘小学校 水泳プール解体工事 について

議員 工事期間と安全対策の内容は。
課長 九月中旬頃、一カ月程度を予定している。
工事車両と子供たちが遊ぶ場所を区別し、要所に限定した通路を設けてガードマンを配置し、徹底して安全確保を図っていく。

新年度予算審査

一般会計

歳入

社会資本整備

総合交付金について

委員 地域活力基盤創造交付金から社会資本整備総合交付金に変わったことによる影響は。
課長 予算計上段階では見込んでいないが、国では投資的経費を二割程度減としており建設事業に今後影響が出ることを考えている。補

助基本額が変更になった場合には補正で対応したい。

市民税の納税義務者と 見込み額について

委員 市民税個人分について、納税義務者がふえているのに見込み額が減っている。算定根拠は。

課長 所得割は、リーマンショックの影響から減少を見込んだ。均等割については人口の伸びから増を見込んでいる。トータルで減額の予算計上となっている。

歳出

平成二十二年度予算に対する総括質疑

新たな財源確保について

創政会 高橋 史光 議員

議員 市税等の収納環境を整備し、市民の利便性向上を図るために、二十四時間いつでもどこでも納めることが可能となるコンビニエンス収納へ準備が進められるが、新たな財源確保への取り組みは。
市長 市税等のコンビニ収納は二十二年度中に環境整備を進め、二十三年度からの実施計画

地球温暖化対策の取り組みについて

市政クラブ 橋浦 正人 議員

議員 温暖化対策として庁舎内の電球をLED電球に交換することだが、蛍光灯を省エネ型に切りかえると、長期的には省エネになる。庁舎内照明設備の省エネタイプへの切りかえはどの程度進んでいるか。今後、省エネ対策をどう進めるのか。

市長 現在二十ワットで百ワット程度の照度の電球型蛍光灯を使用しており、LED電球に更新する。寿命は四万時間以上で、二十年間は交換が不要となる。今後省エネタイプの照明設備への更新や空調の見直し、太陽光発電導入も検討していく。

宮城県・市町村共同 電子申請について

委員 何種類想定しているか。

課長 給水使用開始届、給水停止届、各種診断申し込みなど、十七分野、五十二手続きについて、県内統一の様式を検討している段階である。

高齢者ふれあい サロンの助成金に ついて

委員 進め方と内容は。

課長 市内の空き建物、空き部屋などを活用する。賃借料と施設使用料で一施設月六万円を限度とする。光熱水費は一施設一万円を限度とし、運営費は一万円とする。開設準備金は、五十万円で、三カ所を予定している。

カキ殻肥料散布 調査委託について

委員 調査方法は。

課長 散布区・無散布区それぞれ五ヶ所を選定し調査する。効果についての判断は数年間の期間を要し、林業試験場の指導を受けながら今後実施する。



▲カキ殻肥料散布の様子

学校給食に対する地場 野菜の拡大について

委員 新年度の取り組みは。

課長 十八品目であった地場産品を二十八品目までふやす計画である。地元産の青果物はJAを通して納入してもらおう。新調理場では生野菜、果物等が扱えるようになるため、地場産品の活用が図られる。



▲建設中の(仮称)新学校給食共同調理場

水道料金値下げの検討は

議員 仙南・仙塩広域水道の「長期ビジョン」を経費算定にどう生かしたか。

また、平成二十七年以降平成四十年までは、基本料金・使用料金も供給単価見込みも下がっている。他市で値下げの動きもあるが、本市では検討したのか。

市長 安定給水を第一とする建設計画等が重

日本共産党 大沼宗彦議員
要となる。
事業施行に係る経費算定が平成四十年までの二十九年にわたる。平成二十六年までは、料金改定が確定しており、以後五年スパンで試算されている。

県広域水道の値下げの影響は、一・三割程度で、値下げは行わず健全経営維持の原資とした。

集中改革の達成度は

公明名取 星居敬子議員

議員 行政改革を進める「集中改革プラン」が二十二年で終了する。その達成度と検討課題として残されたものは今後どうするのか。

事務事業見直しは十一件中十件実施。民間委託等は十件中五件実施。定員管理適正化は二十七人中十五人減員。給与適正化は五件中四件実施。地方公営企業見直し七件中六件実施。未実施分については「第四次行財政改革大綱」において、二十二年以降に継続していく。

新しい保育サービスに係る職員体制は

名翔クラブ 本郷一浩議員

議員 四月から「名取みたぞの保育園」が開設される。手倉田保育所では早朝保育を実施、増田児童センターでは登録児童を拡充する。

新しい取り組みは、多様な働き方に対応する柔軟なサービスであるが、予算書では、臨時保育士の賃金が大きく計上されている。運

大手町下増田線の工事完了予定について

青雲倶楽部 山田龍太郎議員

議員 東西交通ネットワークの重要な骨格を形成する都市計画道路、大手町下増田線の用地取得に着手するとしているが、予定どおり平成二十七年三月末までに工事完了が見通せるのか。

市長 平成二十二年二月十日付で、宮城県知事より事業認可を得て、三月五日に事業説明会を

行った。
市として当初のスケジュールのとおり、平成二十六年完成を目指し事業の推進を図っていく。しかし、事業費規模が多大であることから、国の補助が大前提であり、今後予定どおりの事業費の確保ができるか大変厳しいと認識している。

緊急雇用創出事業費について

委員 事業の内容は。
部長 国から示された制度で、仕事を失って困っている市民へ緊急の雇用の機会を確保すべく、各課より応募のあった六月以内の雇用である。更新は一回まで、最長一年の雇用をする事業である。

防災行政無線

(同報系)について

委員 新年度の取り組みは。
課長 二十一年度で各公民館への設置は終了した。新年度の新たな設置はないが、屋外放送だけでなく、屋内放送までの可能性があるかどうか検討する。



▲ 防災行政無線

賛成討論 森 良二議員

合併処理浄化槽設置・公共下水道整備事業は、快適

な住環境づくりに欠かせなく多くの市民が待ち望んでおり、計画推進を望む。

戸別所得補償方式は転作作物の生産拡大対策と、米への価格補てん対策がセットで推進される。

農業後継者育成海外研修は農業農村のみならず地域づくりへのリーダー育成を兼ね備えた事業で、これからのリーダー養成にふさわしい内容と推察し賛成する。

賛成討論 小野寺美穂議員

厳しい財政運営の中にもかかわらずに住民の福祉の向上を目指すのが重要である。

文化会館使用料を申し込みと同時に徴収する方法は改善すべき。雇用施策の一つである観光資源開発調査委託の業者選定について、目途もなく、公募によりたまたま一社確定というのは余りにも不自然。不明瞭さの残る事務執行は改めるべき。避難所の設置は今回のチリ地震津波を教訓とし、住民の利便性を重視すべき。

後期高齢者医療特別会計

反対討論 小野寺美穂議員

「うば捨て山制度」と言われているこの制度は、高齢者を差別し、大きな負担を強いるものである。今回の保険料について、広域連合では剰余金や基金を使い値上げ幅を抑えてはいるが、剰余金とは納めすぎた保険料である。受診抑制等の問題も根底にある。この制度は、政権交代によって即刻廃止となるべきものであった。国に対して、この悪法を即時廃止すべきと強く求めるべきである。

介護保険特別会計

介護認定費調査員報酬について

委員 人員がふえるが、その業務内容は。

課長 嘱託職員二名及び正職員一名、合計三名で認定調査をする予定である。

調査は新規申請全部と、市外の病院・施設を担当する。また、市内の特養・老健等の施設入所者については、なるべく市の職員を派遣して調査する。

反対討論 小野寺美穂議員

介護保険給付費は高齢化の進行などにより、初めての国全体で七兆円を超える見込みである。国庫負担は二十二・八割まで減っている。六十五歳以上の保険料は三年毎の改定だが、四十歳から六十四歳までの保険料は毎年改定される。

給付費が上がれば保険料にはね返り大幅な値上げとなる。内容が把握されていないければ手当てもできない。このように負担増を続ける制度はいずれ破綻する。

下水道事業等会計

閑上地区雨水排水現況解析委託料について

委員 委託料の具体的な内容について。

課長 閑上地区の排水は、一時間当たりの降雨強度が四十六ミリで整備してきた。市街地の排水区全域の実態把握と施設の状況調査、新町ポンプ場と閑上ポンプ場間の連携や連絡函等の設置などの検討を行う。

追加議案

補正予算

一般会計

歳出

緊急雇用創出事業について

議員 事業の内容と何名の雇用となるのか。
課長 児童健やか保育環境整備委託料で保育士一名、医療事務人材育成委託料で一名、ホームヘルパー二級養成委託料で六名を一年間雇用するものである。



▲ 保育士が一名雇用となる認可保育園

陳 情

◇傾斜面通路への手すり
と階段の整備についての陳
情

(金野 和男氏外四名)

◇猿猴沼の市民開放に關す
る陳情

(猿猴沼愛好会代表

峰村 徳明氏)

請 願

◎採択

建設水道常任委員会に付
託された次の請願は、三月
十八日の本会議で採択しま
した。

◇航空機騒音軽減に關する
請願

(館腰地域仙台空港周辺
整備対策協議会会長

齋 政夫氏

外二千六十二名)

人権擁護委員 候補者を可決

提案された人権擁護委員
候補者の推薦については、
二月二十三日の本会議にお
いて、次のとおり原案可決
しました。

◎人権擁護委員候補者

坂本 宏一氏(那智が丘)

議 会 を 傍 聴 し ませ ん か

「次回の定例会の開会予定は
六月十日です」

本市議会では、定例会が
年に四回(二月・六月・九
月・十一月)開催されます。

本会議・各委員会は一般
に公開され、どなたでも傍
聴できます。傍聴を希望さ
れる方は、市役所議会棟二
階の議会事務局までおいで
ください。

今期定例会における
傍聴者数は延べ
79人
でした。
今後とも、議会の傍聴に
足をお運びください。

行政視察来訪

本市には、特色ある事業
や先進的事業の行政視察と
して、毎年二十程度の市町
等が全国各地から訪れてい
ます。

平成二十一年来訪された
自治体等とその主な視察項

目についてお知らせいたし
ます。

◎議会運営・議会改革関係

埼玉県秩父市、佐賀県市
議会議長会、岩手県久慈
市、宮城県登米市

◎保育所運営関係

宮城県丸森町、千葉県袖
ヶ浦市、宮城県角田市

◎防災関係

大阪府守口市、茨城県守
谷市

◎新学校給食共同調理場関
係

長崎県大村市、愛知県豊
明市

◎食育プラン関係

三重県津市

◎議会広報関係

新潟県五泉市

◎名取駅コミュニティプラ
ザ関係

愛知県岡崎市

◎公共交通計画関係

京都府福知山市

◎汚水処理関係

佐賀県小城市

◎雷神山古墳関係

石川県野々市町

◎職員の研修制度関係

長崎県長与町

◎中心市街地活性化関係

滋賀県栗東市

◎不妊治療費助成制度関係

埼玉県新座市

3月25日 議員協議会 「第四次名取市 行財政改革大綱(案)」

去る三月二十五日に、議員協議会が開
催され、第四次名取市行財政改革大綱
(案)について、市長等から説明がなされ
ました。

新しい行財政改革大綱(案)は、持続可
能な財政運営を基本としつつ、三位一体
改革による市の役割の増加や、景気後退
による厳しい財政運営など、今日的な行
政課題に対応できる、自立した自治体を
構築する指針として策定するものです。
詳細な説明の後、議員からは策定まで
の協議の経過や、個々の施策の内容につ
いて、多くの発言がなされ、活発な議論
が展開されました。

編 集 後 記

去る二月一日、臨時議会
において、議会改革実施特
別委員会が設置されまし
た。二十四人の議員が三つ
の小委員会に所属し、調査
研究に取り組んでおります。
これからも、議会活動の
一層の充実を図り、市民の
議会参加と協働のまちづく
りを進めていくことに努力
してまいります。
第二回定例会は二月二十
三日から二十四日間にわた
り開かれました。
二十一年度補正予算、二

十二年度予算などで活発な
質疑がなされ、慎重な審議
が行われました。
当委員会では議会の様子
が伝わるような編集作業に
努めました。議会だよりへ
のご感想やご意見などあり
ましたら、ぜひお寄せくだ
さい。

委員長	菊地 忍
副委員長	山田 宗彦
委員	大沼 良二
〃	森橋 史光
〃	高橋 喜一郎
〃	沼田 弘志
〃	人見 祐司
〃	相澤 龍太郎
〃	山田 龍太郎